

## 2020.8.27/瑞穂鯨城会ウォーキングクラブOP企画 白沢溪谷の源流を目指して小幡緑地へ、更に八竜緑地

名古屋はお盆から今日まで連続して 35℃ 以上の猛暑日になりました。

コロナ禍のこんな時こそ思い切って、交通の便が良く自然環境に恵まれている小幡緑地と八竜緑地のウォーキングOP企画です。我ら三羽鳥が 8 月 27 日(木曜日)にゆとりーとライン砂田橋に集合し、小幡緑地行き 8:10 に乗車、白沢溪谷 8:18 下車し、先ず白沢溪谷と庄内川との合流地点に向かいました。



白沢溪谷の石組みによる大滝と PC 橋



白沢溪谷は第二環状自動車道建設時にかなり自然に近い環境に配慮した護岸工事がなされ、巨石積みの両岸は灌木に覆われ、苔むした河原の沢の流れは小さいながら深山幽谷の面影があり、名前が示すような溪谷であることを実感しました。

城土公園に架かる橋は、以前は主塔が丸太で床も木製の吊橋でしたが、現在はコンクリート(PC)橋に架け替えられて残念ながら幾分風情が失われていました。

橋から白沢溪谷を俯瞰すると、巨石に組まれた幾筋の流れが横に広がり、水飛沫を上げた落差 5m 程の見事な滝がありました。滝の上流は巨石による治水堰堤で大きな緋鯉が泳ぐ淵があり、回遊式日本庭園を想わせます。

城土公園の入口には巨石による碑が設置され、碑文を要約すれば【その昔 白沢川は一旦豪雨になれば小幡・大森・吉根・牛牧当たりの山々から水が一気に流れだし、下流の村々に甚大な損害を及ぼす川で、昭和 5 年に瀬古村からの願いによって当時小幡に流れていた川を堰として現在のような庄内川へと付け替えた】とありました。

この先の溪谷は夏草に覆われ川沿いを遡上するには夏草の藪漕ぎは可なり勇気を必要とし、高齢者には無謀すぎるので素直に諦めます。

川沿いの都市街路は全て川沿いとは言えず、付かず離れず白沢川に沿って上流に向かってウォーキングをし、松坂町交差点を渡り、小幡緑地の見返り池に向かいました。

見返り池はガードパイプとフェンスで囲われていますが、ショートパスで脚の長い三羽鳥は跨ぎ容易に池の周りの木陰を通り抜けました。

源氏蛭の繁殖ボランティアの絵看板を確認して、緑寿荘前の市道を横切り、ザリガニ取りの小川の橋を渡り、グランドゴルフ場を横切り竜巻池に着きました。

取水塔の東屋で小休止、9 時を過ぎて陽射しも強くなり気温も上がり水分補給です。その次は小幡緑地の一番大きな緑が池に向かいます。



この池は大きいだけではなく周囲の尾根分水嶺の樹木がマンションも商業ビルも視界から遮り、保全されている樹木と相まって、市街地の割には自然環境が良く保たれています。

その上湖岸沿いの風流な東屋は擬木の手摺が風雨でそれなりに劣化して自然木の朽ち果てたように周りの風景に溶け込んでいて風情がありました。

池の水面を渡る風は幾らか涼しく、水面は微風ながらさざ波でキラキラと光り山紫水明の面影があり、ここが名古屋市内とは思えぬほどの景観でした。

今日のコース中間地点の東屋で腰を下ろし、3人の体調確認をして予定通りのコースを続行する事になりました。

緑が池から先は市道四差路を渡り、両側が手つかずの鬱蒼とした森で意外に静かな市道のウォーキングです。

白谷川と隅除川分水嶺の陽射しの強いアスファルト道を黙々と汗を滴らせて登ります。可なり疲れた頃ようやく八龍神社の参道入口に到着しました。



神社には石像が祀られ、龍の眼は鋭く天空を睨み、胴体の鱗はきめ細かく細工され迫力のある板碑がありました。鎮守の森に囲まれた本殿は昼なお暗く幽玄の世界です。

八龍神社に隣接の八竜緑地は未だ一般にあまり知れ渡る事がなく至って静かな自然環境でした。

八竜緑地は植物の環境保護に力を入れており貴重なビオトープ保護を目指しています。緑地公園の湿性植物はフェンスで保護されており一般には解放されていません。

主な湿性植物は秋の代表的なシラタマホシグサ・サギソウ・などが有名です。この他、春にはシデコブシ・マメナシ・コバノミツバツツジ・ハルリンドウなどが見

られるようです。

湿性園の外周は歩き易いように木道が設置されており、広場には校外学習のためのテーブルとベンチがありました。

湿性園では【水源と森と八竜緑地を守る会】の10人程のボランティアの方に偶然お会いしました。

腰には鉋・剪定鋏を下げ、そろいのベスト姿でプロの植木職人さんに見間違えようような姿で、夏草の刈払い作業をされていました。会員の方から丁寧にシラタマホシグサ・マメナシの開花時期をお聞きし、マメナシの実を教えていただき、味まで詳しく教えていただきました。

湿性園は毎月第一日曜日には解放されて一般の方も見学ができるそうです。

湿性園の下流には新池があり、北側には池の中の生態系を観察する栈橋が設置され、南側には池の中にお地蔵様が祀られています。新池を後に、住宅地を迂回しながら雨池公園に寄りました。

最後に名鉄瀬戸線金城学院前駅の古刹の浄土宗大森寺に寄りました。この寺は尾張光友二代藩主のご母堂の菩提寺で立派な宝篋印塔のお墓が造立されています。



暑い中、三羽鳥は予定のコースを無事に歩き通し、大森バス停留所 11:25 発の曽根行きで帰途につきました。

今回のOP企画は本願寺の我が家までの総歩数 16,000 歩、距離 11.0km、歩行時間 2:30 でした。

【撮影 北川健一・記 宮田 岩男】